

読むまえに...

- ① 手順の説明：これからすることを子どものやる気が増すように楽しく説明する。



これから本と一緒に読みましょう。はじめは私が読んで、そのあとを〇〇さんに読んでもらいますね。読み終わったら、どんなお話だったか話しましょう。

- ② テキスト選び：いっしょに読む本を選ぶ。

・テキストを子どもにわたす。



これは『ことりと木のは』というお話です。どうですか。読めそうですか。もう少しやさしい本にしますか。

・22ページ(1ページ目)の1～2文を音読させ、読み続けるかテキストを変えるかを子どもに選ばせる。



はじめだけ少し読んでみて、決めましょう。22ページ目を声に出して読んでみてください。

・子どもが読むのを聞く。読み終わったら、もう一度、次のように質問をする。



最後まで読めそうですか。

・「読める」と言った子ども ⇨ そのままこの実践ガイドにそって進む。

・「読めない」と言った低学年児童 ⇨

レベルAのテキストへ

・「読めない」と言った中学年児童の場合はDLA(読む)を終了する。

- ③ 興味・関心：テーマについて知っていることを確認し、興味・関心を高める。

・次のことばの理解を確認し、知らない場合は教える。



「とり(ことり)」を知っていますか。見たことがありますか。
「木のは」を知っていますか。

- ④ 予測：テキストの絵を見せ、テーマについて予測させる。



絵を自由に見ていいですよ。
これはどんなお話だと思いますか。

メモ：

このテキストは、ひらがな、カタカナの習得を終え、拾い読みが安定してできるようになっている子どもに適している(テーマが認知発達レベルに適さないため、高学年以上には原則として使用しない)。まだ文字の拾い読みの段階では読みながら内容を理解することが難しいため、絵や写真で話の流れが予想できる下のレベルのテキストのほうが適しているかもしれない。そのような子どもがこのテキストを選んだ場合、子どもの様子を気をつけて観察し、途中でテキストを変えてもよい。また、最後まで読めたとしても、あらずじ再生が難しい場合は、じっくり待って、はげましたり、子どもの発話をつなげたりするなど、スモールステップのサポートを心がける。

母語での読みの力が高く、日本語学習期間が短いためにこのテキストを選んだ子ども(主に中学年)の場合は、音読の流暢度やあらずじの再生力が不十分であっても、内容をよく理解できている場合もある。その場合は、最後に母語であらずじ再生を求めたり、話し合ってもかまわない。最後に子どもが「読めた」「話せた」という達成感をえられるようサポートする。

読みましょう...

- ① 読み聞かせ：最初は実施者が読み、子どもはテキストを見ながら聞く。
 ・テキストを子どもに見せながら、初めから25ページの最後まで実施者が声にだして読む。



ではこれからいっしょにこの本を読みましょう。はじめは私が読みますね。後でどんなお話か聞きます。しっかり聞いてください。

- ② 音読：続きを子どもが読む。
 ・26ページの初めからテキストの最後までを子どもに読ませる。



これから〇〇さんに読んでもらいます。ここから最後まで声に出して読んでください。もし分からないことばがあったら聞いてください。後でどんなお話だったか聞きますね。しっかり読んでください。では始めましょう。

- ・実施者は音読の区切り方やつまずいた時にどのように対処するかということに注意しながら聴く。
 (特に訂正や指導はしない)
 ・終わったら、声かけをする。



とても上手に／頑張って、読めましたね。

話しあいましょう...

- ① あらすじ再生：テキストをとじて、子どもがテキストの内容を再生する。
 実施者は「それから？」などと声かけをしつつ、子どもの話を最大限に引き出す。



ではこのお話はどんなお話でしたか。はじめてこのお話を聞く人にわかるように話してください。終わったら『終わりです』と言ってください。はい、どうぞ。

- ・下の『あらすじチェック』を参考に、どのくらい理解できているかをチェックする。
 重要な内容をふまえて、まとめて言ってもよい。下記のようなテキスト通りの言い方でなくともよい。

あらすじチェック

- 1. ことりのおかあさんが病気です。
- 2. ことりは、えさをさがしに行きました。
- 3. たかがことりとびかかりました。
- 4. ことりは「たすけて。たすけて。」と(にげながら)さげびました。
- 5. 山の木たちは、いっせいにえだをゆすりました。
- 6. 木のはがいっぱいおちてきました。
- 7. たかは、ことりか木のはか分からなくなりました。
- 8. ことりは、とんでいきました。

② 理解を深めるやりとり：話し合いながら、理解を深める。

- ・再生した内容に次のような情報が含まれていなかった場合に質問する。

たくさん／頑張って／上手にお話できましたね。今度は少し私が質問しますね。

質問	解答例
1. はじめ、ことりは何をしに行きましたか。	1. 木のみをとりに行った。
2. ことりはどうして木のみをとりに行きましたか。	2. おかあさんが病気で、おかあさんにあげるため。 (早く元気になってほしかったから。)
3. 山の木たちはどうやってことりをたすけましたか。	3. えだをゆすって、木のはをおとして、 ことりか木のはがわからなくした。
その他の質問(自由)	

③ 解釈・感想：お話を読んで、また自分の体験と結びつけてどう感じたか話し合う。

このお話は面白かったですか。 どこが一番面白かったですか。
 どうして(そこが一番面白かった)ですか。 思い出したことや考えたことはありますか。

読んだあとで...

① ふり返り：全体をふり返り、良いところを見つけてしっかりほめる。

はい、これで終わりです。頑張りましたね。難しかったですか、簡単でしたか。
 ○○さんはとても上手に／頑張って○○できましたね。○○がよくわかっていますね。

② 読書習慣：本や本を読むことについて話し合い、読書への興味・関心を高める。

本は好きですか。よく本(教科書ではない本)を読みますか。
 自分で読むのと、お話を聞くのとどちらが好きですか。
 おうちの人に○○語／日本語の本を読んでもらいますか。
 どんな本(お話の本、絵本、クイズ、めいろ、ずかん、マンガなど)が好きですか。
 好きな本の名前を教えてください。(わかれば)

- ・母語での読みの力が高い子どもには、次のような質問をしてもよい。

○○語ではよく本を読みますか。
 ○○語でどんな本を読みますか。(絵本、図鑑、物語、説明の本、教材など)
 一週間にどのくらい○○語で本を読みますか。

ではこれからたくさん本を読んでください。ありがとうございました。